

2014年10月1日

自社開発の乾式外装システム『プラスリム工法』を 外壁リニューアル工事に適用

東急建設（株）（本社：東京都渋谷区、社長：飯塚恒生）は、自社開発[※]の乾式外装システム『プラスリム工法』を用いて、タイル仕上げ外壁（築27年経過、小口タイル張り）の外壁リニューアル工事を実施致しました。

プラスリム工法は、既存外壁にアンカー固定したアルミ製の下地に、薄型のGRCパネル（ガラス繊維補強セメント板）を嵌め込んで取り付けるスリムな乾式外壁被覆改修工法です。

本工事でのパネルサイズは約1.0m角を標準品として、施工効率を高めました。パネルを足場上に電動ウインチにて揚重し、簡易な治具でレールにセットしてから人力でパネルをスライドして位置決めを行いました。約2ヶ月の短工期で外壁リニューアル工事を完了しました（墨出し～シーリングまで 外壁面積430m²）

従来の乾式による改修工法では、取付下地と改修パネルの厚さが最大80～100mm程度となり、建物の外壁と敷地境界との間に余裕の少ない建物では、乾式工法自体を選択できない場合がありました。

プラスリム工法では、薄型GRCパネルに特殊形状のレールを用いることで、最低約50mmの厚さで仕上げる事が出来ます。また、このGRCパネルは、薄くても高い曲げ強度と靱性を有するため、丈夫で耐久性の高い外壁に変えることが出来るとともに、大型重機を使用せず、手で持ち運びが可能なることから施工効率が高く、短工期での施工が可能となります。

【主なメリット】

- ・既存外壁の劣化具合に関係なく全面的な被覆が可能。
- ・既存外壁の補修工程が不要。
- ・重機を用いなくても電動ウインチで取付可能、短工期施工が可能。
- ・改修時だけでなく新築時にも使用可能。
- ・パネルサイズは最大1.0m角（人が持ちあげられる重量におさめる場合）
- ・パネル表面の仕上げは、タイル張りや石調研ぎ、および塗装等、様々なパターンが適用可能で意匠の自由度が高い。
- ・パネル内側に断熱材を組み込んで断熱材と一体化する外断熱型パネルを用いた省エネルギー改修も可能。

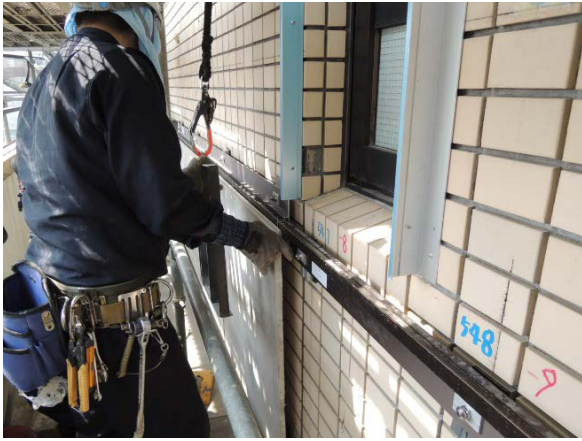
※プラスリム工法は、東急建設（株）（本社：東京都渋谷区、社長：飯塚恒生）、（株）ニチアスセムクリート（本社：東京都港区、社長：山本司）、YKK AP（株）（本社：東京都千代田区、社長：堀秀充）3社の共同開発品です。



改修前



改修後



パネルの設置状況



仕上がり状況拡大

工事概要

工事場所	神奈川県横浜市
構造・規模	SRC造・地上3階 塔屋1階
最高高さ・軒高さ	15.95m・12.20m
既存 外壁仕上げ	陶磁器質タイル 小口タイル
新規 外壁仕上げ	GRC板素地の上、現場塗装
外壁施工面積	約430㎡
工程	約2ヶ月 (墨出し～金物シーリングまで。足場掛払い除く)

【今後の展開】

今後増加が予想される外壁タイル張り仕上げの落下防止を目的とした保全工事や、外断熱化による省エネ改修等の外壁リニューアル工事の他、省エネルギー性能の高い新築工事にも積極的に提案していきたいと考えております。

以 上

<本件に関するお問い合わせ>

管理本部 経営企画部 広報グループ 真安

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail : webmaster@tokyu-cnst.co.jp